

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145400000	国県事業推進課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	060	国県・高規格道路対策事務費	事業 3	001	国県・高規格道路対策事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 国や県などの事業者や地元が抱える課題に対して市の立場で調整等を行い、事業の円滑な推進を図る。
- ・内容 総合計画はだの2030プランに掲げる「新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト」を推進するため、新東名高速道路及び国道246号バイパスの整備促進に向けて要望活動や関係機関、地元との調整等を行うもの。
国道・県道、河川、公園等の事業に関する関係機関や地元と適正管理に向けた調整等を行うもの。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 国県・高規格道路事業の円滑な進捗
- ・目標値 令和8年度供用開始 県道705号（秦野駅前通り）道路整備・電線地中化事業による車両の対面通行
令和10年度以降供用開始 新東名高速道路（新秦野IC以西の本線及び秦野丹沢SA）
国道246号バイパスは、未事業化区間の早期全線事業化及び事業化区間の早期開通を目指す。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策341 防災・減災対策の推進・基本施策411 都市形成と基盤整備の推進）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：3,605千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：4,385千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：7,284千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 国道246号バイパスの早期全線事業化及び整備促進に係る要望活動を実施したほか、新東名高速道路の工事の進捗状況や国道246号バイパスに関する取組状況等について、広報はだの等により市民へ周知した。
県道705号（秦野駅前通り）をはじめとする県事業について、関係機関や地元との調整等を行った。
- ・令和7年度 国道246号バイパスの早期全線事業化及び整備促進に係る要望活動を実施したほか、新東名高速道路及び国道246号バイパスの工事の進捗状況やそれらに関する取組状況等について、広報はだの等により市民へ周知した。
県道705号（秦野駅前通り）の歩道や道路照明灯のデザイン等について、にぎわい創造に向けた調整を行うとともに、他の県事業についても関係機関や地元との調整等を行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

国道246号バイパスは、早期実現に向けて要望活動を継続している。事業中区間では、用地買収が着実に進んでいるものの市

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145400000	国県事業推進課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	060	国県・高規格道路対策事務費	事業 3	001	国県・高規格道路対策事務費

民が事業進捗を感じづらい状況であるため、適切に情報を発信し、事業に対する市民の理解度を深めていきたい。

新東名高速道路は、供用開始目標である令和9年度に向けて事業が進んでいたものの、高松トンネルの掘削に遅れが生じたことにより、供用開始目標が令和10年度以降になったため、今後も引き続き事業者と連携して、進捗状況等について市民に対して積極的に周知を図る必要がある。

県道705号（秦野駅前通り）は、供用開始年度を迎え、着実に事業が進んでいるものの、歩行道全ての工事完了の見通しが不透明であるため、事業進捗の把握に努め、必要に応じて地元に対して周知を行うことで、事業に対する地元の理解度を深めていくとともに、にぎわい創造に向けた整備と一体的に進めていく必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

国道246号バイパスは、早期実現に向けて要望活動を継続するとともに、事業概要や取組状況について、広報はだの等により市民に向けて広く周知していく。また、渋沢IC（仮称）を交通結末の拠点とした周辺地域へのアクセス向上を図るため、周辺道路のネットワーク及び道路規格、ルート、構造等の検討を行っていく。

新東名高速道路は、供用開始目標年度が変更になったため、市民に対して積極的に周知を図るとともに、関係機関や地元との調整等をより丁寧に進め、円滑な事業進捗に向けた協力をしていく。

県道705号（秦野駅前通り）は、供用開始目標年度を迎えることから、関係機関や地元との調整等をより丁寧に進め、円滑な事業進捗やにぎわい創造に向けた整備と一体的に進めてもらうよう、協力をしていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・ 国道246号バイパス関連周辺道路検討委託業務の発注（+3,119千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

国県・高規格道路事業は、市事業と比較して広域的かつ大規模となることが多く、事業者や地元は様々な課題を抱えていることもある。これらの事業を円滑に進めるためには、事業進捗を積極的に周知するとともに、市の立場で地域に寄り添った調整を行ったうえで、事業者への協力を資する対応が求められる。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

- ・ 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 該当なし